

令和 8 年 9 月 8 日

城里町議会議員 高萩 和彦

議員広報委員会研修報告書

研修先	令和 8 年度町村議会広報研修会（渋谷公会堂）
日 程	令和 8 年 8 月 2 8 日（金） 午後 1 時～午後 4 時 4 0 分
参加者	広報委員 6 名 議長 事務局 2 名 計 9 名
【内 容】 ◇ 3 名の講師が、異なる立場、視点で議会広報誌の役割や改善方法について講義を行った。 (1) 村田大地氏「住民と議会をつなぐ広報デザイン術」 自治体職員として広報誌の編集に携わった立場から、住民に親しみやすい紙面作成のポイントを解説した。具体的には①住民を関与させる②情報に優劣をつけ、分かりやすく説明③読みやすいレイアウト④文字を少なく写真が多く、を実践すると良いとのこと。 (2) 丘村奈央子氏「議会広報誌のビフォーアフター」 民間でのフリーライターの立場から、今ある紙面を活かしながら改善できるテクニックを解説した。具体的には①余白とメリハリのある紙面デザイン②目立つ見出し③情報を選抜し、優しい言葉に言い換える、ことが重要であると指摘した。 (3) 橋本欣一氏「山形県川西町議会における議会広報の取り組み」 議員として長らく広報委員として携わった立場から、川西町議会の妥協のない紙面づくりを解説した。具体的には①徹底した町民目線②議員のみの力による編集作業③住民モニター、アドバイザーによる添削、を実践している。	
【所感・課題等】 広報誌の編集において最も大切なのは「読み手を意識する」点であると感じた。 また、紙面の見やすさ、読みやすさの改善はもちろんであるが、議会の仕組み、役割を丁寧に伝えて行くことも必要である。 当町の広報誌は①議会の仕組み、役割を伝えること②町民の視点を取り入れること、について改善の余地があると考えます。また、そのような課題についての議員間での認識の共有も必要と考えます。この点を意識しつつ、議会広報の改善を推進して行きたい。	